

【休業明け集会】

9月2日(月), 長い夏休みも終わり, 生徒たちが元気に学校へ登校してきました。休業明け集会の中で, 校長先生からは「日々更新」と題して, 「授業での学びや行事, いろいろな人の努力を知ることが, 自分の考え方・在り方・行動を更新していくことにつながっていく。日々更新していくことが大切である。」と話されました。

9月からは今年度の充実期に入ります。1, 2年生は学校の中心としての今後の活躍を期待します。また, 3年生は高校生活も残すところ約半年となりました。夢の実現のため, 進路に向けて精一杯自分の出来ることに取り組んでいくこと, また, 後輩たちのよい模範として学校を引っ張っていくことを期待します。



【創立記念講話 (キャリア講演会)】

9月3日(火), 創立記念日(9/11)を祝うと共に, 本校生としての在り方・生き方や探究心の育成を図るために, 講師に内田善博氏(旧緒川村村長, 昭和35年3月本校卒業)をお迎えし, 「早い目覚めを」と題して, キャリア講演会を開催しました。

大学進学後に刺激を受けたことや社会人になって感じたことなどを中心に, 目標を決め, 早く取り組んだほうが良いこと, 切磋琢磨することで人は成長すること, いい笑顔をつくれる人になることなど, 人とのつながり, 仲間づくりの大切さを話してくださいました。

生徒は地域のために働き, ご活躍をされた母校の大先輩の話真剣な眼差しで, 聞き入っていました。
～大森 優太(3-1)さんより～

小瀬高校が120周年を迎えることが出来るのも, 地域のために行動している人たちがいること, その行動に協力して支えてくれている人たちがいることを講演会を通して知りました。私も誇りをもって未来へと頑張っていきたいと強く思いました。

～江幡 敬斗(3-2)さんより～

講演会を通して, 自分たちの地域の大切さについて知りました。私はこれから自分の地域のボランティアなどに積極的に参加したいと思いました。そして, 私たちの住んでいる町をさらによくしていきたいと思えます。



【茶道教室】

9月4日(水), 礼儀作法を学び, 日々の生活に役立てていくことを目的として, 1学年を対象に茶道教室を行いました。

講師として常陸大宮市の茶の湯愛好会の諸澤信子先生をはじめとする7名の先生方をお招きし, 立ち方や座り方, お辞儀の仕方, 茶碗の持ち方など基本的な所作を丁寧に教えていただきました。日常になじみのあるお箸の持ち方や, 掛け軸の言葉の意味など, 様々な角度から和の文化の奥深さを感じる機会となりました。

～小林 加奈(1-1)さんより～

茶道教室を通して, お茶には心を落ち着かせたり, 和を感じさせたりする効果があることがよく分かりました。また, お茶の入れ方や姿勢についても学ぶことができ, 貴重な日本文化を体験することができました。



心を込めてお辞儀をします。



お茶をたて方やお菓子のとり方も学びました。